

ご厚志に感謝！ セントヨゼフ女子学園

後援会 会報

会報Vol.4 2019年5月
セントヨゼフ女子学園
<http://sjjg.ac.jp>

創立60周年記念事業

オープンスペース
(呼称を募集中)

できました



朝、登校後にオープンスペースで過ごす生徒の様子

学園創立60周年を記念して、2階渡り廊下にオープンスペースが完成しました。休憩時間や放課後はもちろん、アクティブラーニング的授業にも活用できる設備を備え、生徒たちがより自発的な学びができるような、環境を目指し整備したスペースです。



明るい空間は勉強もはかどります

備品を寄贈

後援会は生徒の活動を支援することを目的として、オープンスペースで利用するソファやテーブルなどの家具類備品を、2018年度と本年度で寄贈させていただきます。授業や学校見学会など、さまざまな場面で活用されることを期待しています。



用途に応じて組み替えられる家具類

緑薫る爽やかな風が、心地よい季節となりました。

セントヨゼフ女子学園は今年、創立 60 周年を迎えました。学園では60周年記念事業として、生徒たちの憩いと楽しい交流の場「オープンスペース」を新設しました。後援会は昨年度に引き続き、本年度も、オープンスペースの机、椅子などの寄贈と、看板の設置、教育講演会の協賛などを予定しております。

本年、設立 4 年目を迎え会員数は約 700 名となり、過去 3 年間で約 520 万円を学園に寄贈することが出来ました。会員の皆さまのご厚情に感謝するとともに、今後の後援会活動充実のために、会費の継続と新規ご入会をお誘い頂ければと存じます。どうぞよろしくお願い致します。



セントヨゼフ女子学園後援会 会長 近藤 康子

後援会活動



市内通学バスの支援



アスト津に看板設置



おおたとしまさ先生講演会



R23 バイパスに案内看板設置

2018年度 会計報告

収入	繰越金	540,020
	利息	3
	振込金額	1,992,000
	後援会に直接届けられた金額	237,000
合計		2,769,023
支出	振込手数料	49,420
	後援会会報送料	46,352
	後援会会報パンフ代	62,100
	後援会会員募集パンフ代	50,544
	シスター・中津叙勲お祝い	10,000
	会議費・事務費	6,453
	パソコン・プリンター等代	145,000
	パソコンメンテナンス・操作指導謝礼	30,000
	60周年事業備品代	1,300,000
	看板設置維持費	500,000
	教育講演会協力費	100,000
	2019年度へ繰越	469,154
	合計	2,769,023

2018年度 後援会活動報告

2018年	4月12日	第1回役員会	
	4月26日	第1回評議会	
	5月16日	第2回役員会 「後援会会報 Vol.3」発送	
	6月23日	「後援会会員募集」チラシ発送	
	10月3日	第3回役員会	
	11月13日	第4回役員会	
	12月5日	第5回役員会 第2回評議会	
	12月13日	50万円贈呈（広告代）	
	2019年	2月19日	第6回役員会 10万円贈呈（教育後援会助成金） 130万円贈呈（本年度分カフェラテ備品代）
		3月20日	第7回役員会

後援会の方々には、平素よりセントヨゼフ女子学園のために多くのご尽力をいただきありがとうございますこと、心から感謝申し上げます。「平成」から「令和」へと時代の移りゆく中、セントヨゼフは創立60周年を迎えました。ヨゼフの教育は、建学の精神をもとに一人ひとりに寄り添う教育を行っています。少人数による習熟度別授業を展開し、個に応じた学びを提供することで、それぞれが持ちうる能力を引き出します。そして、三重県唯一の女子校として、次の3つのVisionを掲げ、次なる60年に向けてスタートします。

Vision1：魅力ある国際教育を先駆的に取り組む私立カトリック学校

Vision2：持続可能な国際社会に貢献できる女性の輩出

Vision3：世界と日本の未来を担うリーダーの輩出

今後とも、ヨゼフの教育にご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 校長 井関 智子



楽しい学園生活



私は今年、念願だったセントヨゼフ女子学園に入学でき、4月から通学できてとても嬉しいです。

合格通知が来たとき、私の心は喜びと達成感でいっぱいでした。受験勉強では、家族や塾の先生の応援もあり乗り越えられたと感謝しています。

セントヨゼフに入学して頑張りたいことは、英語の授業です。私は、英文を読むことは得意ですが、人と話すことがあまり得意ではないので、頑張って人と沢山話したいです。海外研修や学校行事などを経験しながら、充実した学校生活を送れることを楽しみにしています。

将来、セントヨゼフ女子学園の六年間に学習したことを活かして、周りに流されず堂々と自分らしく、誰かのために役立つ社会人になりたいです。

64期 1年生 新良 成未さん



64期生の入学式



ネイティブ先生の英語授業



気持ちを整えて！空手の演舞



今も変わらないページェント



今年は5月25日にバザー開催



新しいテニスコート



こなところに ヨゼフ生

ーオーストラリアー

41期生 荒井 景子 (旧姓 林) さん



現在、私はオーストラリアのメルボルンで Family daycare (自宅保育所) を開設し、生活しています。オーストラリアに来たきっかけ、それは、中学生の時、オーストラリア研修旅行に参加した際、いつかこの国で暮らしてみたいという思いがずっと胸の内にあったこと、そしてメルボルンからセントヨゼフに交換留学生として来校していた一人の友人の存在があったからです。

メルボルンに来た当初は、留学エージェントで日本人留学生のサポートを主な仕事としていましたが、結婚、出産を経験し、出産後も働きたいと思っていた私は、より子育てしやすい環境を求めて都心から離れた場所に引っ越しをしました。

オーストラリアには大きく分けて childcare (保育園) と Family daycare (個人宅の保育所) があります。オーストラリアは子育てのしやすい国ではありますが、保育料は高額で (平均 1 日 1 万円ほど) しかも、私の住んでいるエリアは、申し込みをしてから入園できるまで 1 年半待ちという状況です。そこで出産後、子育てをしながら学校に通い、保育士の資格を取得し、Family daycare を始めることにしました。多国籍のオーストラリアでは日本人以外にも子供に日本語を学ばせたいという親御さんがたくさんいます。私の保育所でも日本の文化や習慣をとり入れ、子供たちが楽しくて安心できる保育所を作っています。オーストラリアでの生活にすんなり溶け込むことができたのは、英語を中心としたグローバルな視野に立ったセントヨゼフの教育のおかげだと感謝しています。

10月7日、第26回関東支部ウォークソンが開催され約50名が東京田園調布の修道院に集いました。ウォークソンは多摩川の堤防ウォークが恒例ですが、当日は気温が30度の酷暑のため堤防までの往復に短縮されました。

パーティーでは三重県を離れ関東で暮らす卒業生を実家のようにお迎えくださるシスター方への感謝の言葉や、長年支部長を支えていただいた、鎌田さん(1期)と現の田所さん(12期)支部長への感謝の気持ちなどが語られ、童謡と校歌を歌って閉会しました。シスター方が御高齢になられ津の修道院にお戻りになるとお聞きし、支部活動の拠点が無くなり残念との声が多く上がりましたが「絆は場所ではありません。人です」と言う或る大学生の言葉は皆を励まし、ヨゼフ・ファミリーの交流は連綿と続くことを確信しました。

(一期生 橘 倫子)



《瑞宝双光章を受賞》 山中てる子さま (二期生)

後援会の会計担当の山中てる子さん(旧姓西浦さん 2期生)が、シスター中津理事長の平成30年春の旭日小綬章につづき、秋の叙勲で瑞宝双光章を受賞されました。私たちセントヨゼフ女子学園の卒業生として、とても嬉しくて喜ばしい出来事でした。

山中さんは三重県の教職員として38年間務められ、ほとんどの校長が男性の時代に女性の校長として、子どもの育成に尽力され成果を上げられました。退職された今は俳句で活躍をされています。



『水を打つ

山門までの

石畳

』

文芸の窓 ①

この句は津市一身田町にある、高田本山専修寺で詠みました。先般国宝に指定された親鸞聖人開祖の浄土真宗の寺です。

子どもは、一月のお七夜参りには家族総出で行き、お参りもそこそこに寺町通りの香具師の店や植木屋・饅頭屋などを、押せや押せやの中で見たものです。

その父も、母も、兄も亡くなり今この寺で眠っています。山門へ来るとそんな大切な人を思い、人の世のはかなさを思うのです。

山中 綾(てる子)

学園インフォメーション 《小学生のご参加を歓迎！》

5月18日（土）：授業見学会（中・高）
5月25日（土）：バザー
7月7日（日）：公開授業
7月15日（祝）：私学フェア（メッセウイング）
7月27日（土）：サマーラーニング
7月28日（日）：サマーラーニング
8月3日（土）：AO入試説明会
8月4日（日）：AO入試説明会
8月19～22日：高校入試説明会
8月24日（土）：スピーチコンテスト
9月21日（土）：授業見学会（中・高）
10月6日（日）：中学入試説明会・プレテスト

10月19日（土）：授業見学会（中）
：ウォーカーソン
11月2日（土）：授業見学会（中・高）
11月10日（日）：入試対策学習会・
：高校入試トライアル
12月20日（金）：クリスマスページェント
1月4日（土）：中学AO入試
1月5日（日）：中学AO入試
1月13日（月）：中学一般入試
1月24日（金）：高校一般入試
2月1日（土）：授業見学会（中・高）

詳細は学校のホームページをご覧ください

年会費 納入方法

①年間一口2,000円以上。（何口でも納入できます）

②下記のゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。
この受領証を持って領収書とさせていただきます。

③他銀行からゆうちょ銀行への振込み方法

口座名： セントヨゼフ女子学園後援会 口座番号： 店番089 当座0136486

④納入期限：12月末までに納入していただければ幸いです。

6月発送の同窓会メールの『後援会会員募集』のピラにも、振り込み用紙がついています。いずれか一方をお使いください。

後援会の情報はセントヨゼフ女子学園のホームページから「後援して下さる方」をクリックしてください。

2019年度 役員・評議員

役員

会長	近藤康子（1期）
副会長	森茂巴（旧職員） 林茂樹（旧職員）
書記	新良輝美（3期） 中山夕美子（1期） 藤田絢雅（42期）
会計	寺嶋滋代（2期） 山中てる子（2期）
監事	川上政美（旧職員） 橋倫子（1期）

評議員

林留美（6期）	渡辺泰子（旧職員）
西岡節子（7期）	高尾美和子（旧職員）
内山薫（10期）	中井一久雄（旧職員）
西川眞理子（13期）	森川雅子（16期）
山口淑恵（16期）	荒田美智代（10期）
北川保（旧職員）	瀬古久美子（13期）



後援会 Q & A

Q. 会報はだれに送られていますか？

A. 設立後、三年の間に一度でも、納入していただいた方に送付しています。

Q. 去年は会費を送れなかったのですが？

A. 年会費は毎年お願いしていますが、ご都合により毎年でなくても、金額が一定でなくてもよろしいです。長くセントヨゼフを応援してくださるお気持ちを、大切にしています。

編集後記

セントヨゼフ女子学園は今年創立 60 周年を迎え、4 月 9 日に生徒や先生方はじめ多くの関係者が集い、大塚喜直司教様により盛大なミサが執り行われました。

60 年前といえば当時の皇太子殿下と美智子妃殿下が、昭和 34 年 4 月 17 日に伊勢神宮にご成婚のご奉告のため、お召し列車で来県されました。学園に入学して間もない一期生が、屋上からお見送りしたというエピソードがあります。初代校長シスターアーミナの秘書だった方が、美智子妃殿下のご学友だったことから、列車が学園のそばを減速して行ったという出来事がありました。

平成から令和の御代になりました。これから 60 年先もセントヨゼフ女子学園が、より発展するために後援会はこれからも頑張ります。

セントヨゼフ女子学園への寄付金

学園に直接、寄付（10000 円以上）をしていたらと寄付金控除を受けることができます。確定申告をすることにより還付されます。随時、寄付金をお受けできますが申込書が必要です。まず学園事務所までご連絡ください。

後援会活動へのご意見などをご連絡ください。

お問い合わせ先 (セントヨゼフ女子学園事務室内)
セントヨゼフ女子学園後援会

住 所：〒514-0823 三重県津市半田 1 3 3 0
電 話：059-227-6465 ・ 090-1097-4403 (会長：近藤)
F A X：059-227-6466 ・ E-mail：sjkouen@gmail.com